

## 新潟市歴史博物館

港町独特の雰囲気が漂っていた。日本海と日本一の大河の信濃川河口付近からは、水と船が見事に溶け合っていた。小さな船がゆっくりと行きかう光景はその動きからして飽きることはない。まして佐渡汽船フェリーの大型船が信濃川で回頭する様子は迫力満点でつい見とれてしまう。

信濃川ほとりに立派な歴史を感じる建物に出会った。新潟市歴史博物館だ。これはかつて西堀通六番町に所在した 1911（明治 44）年建築の、二代目新潟市庁舎の外観をモチーフに建築されたものである。

この博物館を中心に旧新潟税関庁舎（重要文化財）、旧第四銀行住吉町支店が移設・復原されて「みなとびあ」の愛称が生まれている。この敷地内では堀を模した水路が設けられ、柳のコラボはかつての新潟中心部の景観をイメージしたものである。

ここを歩いていると繁華街での人の溢れそうな雰囲気とはまるで違って、ちらほらとしか人を見ることはない。この空間を見てもったいないように思われがちだがそうではない。こういう所に来れば何故か不思議に落ち着きを感じるのだ。このゆとりのスペースが街の誇りであり文化なのだ。

この博物館では「郷土の水と人のあゆみ」をテーマに歴史や民族など、港町と農村の 2 つの側面から展示。ミュージアムシアター、体験広場、セミナー室、時に敷地内で野外コンサートも開催されている。これらに触れると人間は至福のひとつ時を感じるであろう。 撮影 2013 年春

